



2023年3月25日(土)開催、災害支援対策委員会企画
「JANPU大学間ネットワークの構築と現状について」

JANPU大学間連携ネットワークと 災害時の情報共有・支援

《 構成 》

1. 2022年度災害支援対策委員会
ブロック活動の概要
2. ブロックネットワークを活用する災害発生時の
調査プロセス

1.ブロック活動とは

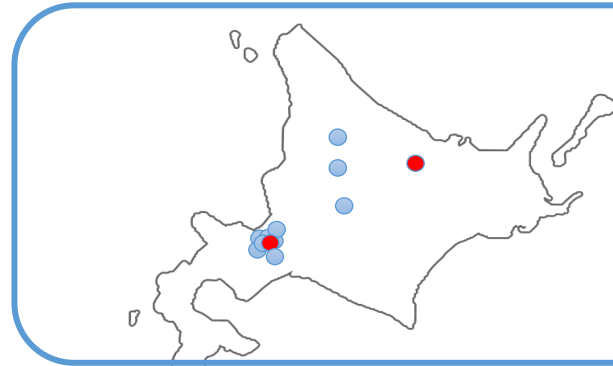
- **目的**：災害発生時の教育継続支援に向けた組織体制構築
- **開始**：2020年度より
- **参加校**：JANPU災害支援対策委員会の趣旨に賛同いただいた会員校
- **ブロック区分**：下記7区分
 - * 北海道・東北ブロック 竹本由香里（宮城大学）
 - * 関東（東京以外）ブロック 山崎達枝（長岡崇徳大学）
 - * 東京ブロック 内木美恵（日本赤十字看護大学）
 - * 中部ブロック 山崎加代子（敦賀市立看護大学）
 - * 関西・近畿ブロック 西上あゆみ（藍野大学）
 - * 中国・四国ブロック 大野かおり（兵庫県立大学）
 - * 九州・沖縄ブロック 三橋睦子（久留米大学）

ブロック活動（ブロック名と登録校推移）

広域ブロック名	開始時 2021/1/8 287会員校	前年度 2022/2/1 290会員校	今年度 2023/2/1 295会員校
北海道・東北	22(66.7%)	29(87.9%)	31(93.9%)
関東（東京以外）	41(69.5%)	50(83.3%)	53(86.9%)
関東（東京）	15(57.7%)	19(73.1%)	23(88.5%)
中部	39(73.6%)	48(87.3%)	54(96.4%)
関西・近畿	33(62.3%)	47(88.7%)	52(94.5%)
中国・四国	22(68.8%)	25(78.1%)	27(84.4%)
九州・沖縄	22(71.0%)	26(83.9%)	28(87.5%)
合計	194(67.6%)	244(84.1%)	268(90.8%)

北海道・東北ブロック

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県



北海道ブロック：12大学

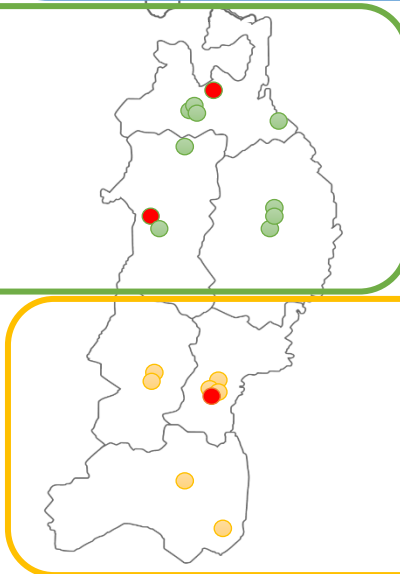
【当番校】

- ・日本赤十字北海道看護大学
- ・日本医療大学

北東北ブロック：11大学

【当番校】

- ・青森県立保健大学
- ・秋田大学



南東北ブロック：8大学

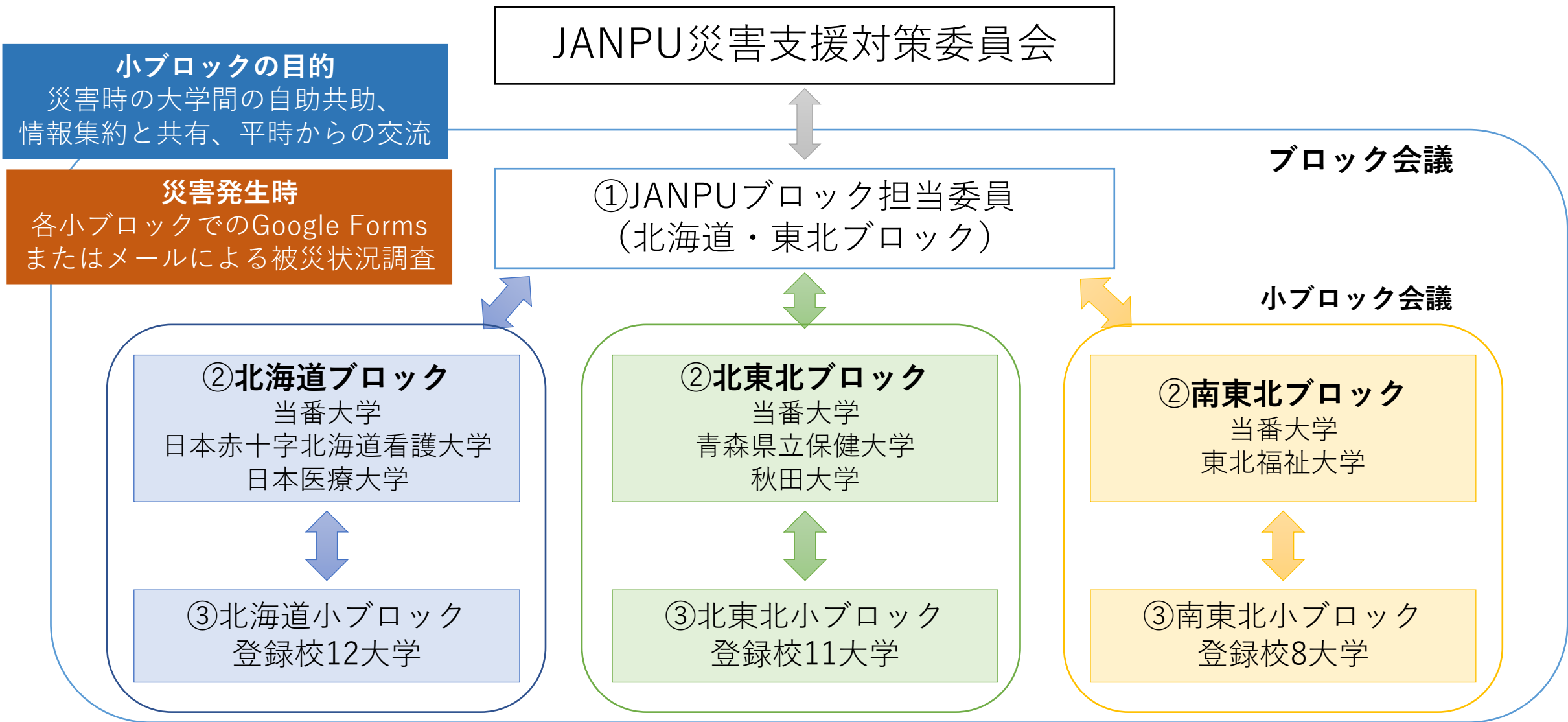
【当番校】

- ・東北福祉大学

■登録 31大学/33大学

担当：竹本由香里（宮城大学）

北海道・東北ブロックの体制



小ブロック会議 関東（東京以外）活動報告

茨城・神奈川・群馬・埼玉・千葉・栃木 6県53課程 (86.9%)



当番校：年次交代

千葉県：千葉大学

神奈川県：湘南鎌倉医療大学

群馬県・埼玉県：桐生大学

栃木県・茨城県：筑波大学

担当：山崎 達枝（長岡崇徳大学）

小ブロック会議 関東（東京以外）活動報告

茨城・神奈川・群馬・埼玉・千葉・栃木 6県53課程（86.9%）

小ブロック会議（年次交代）

群馬・埼玉ブロック

小ブロック会議1回 開催

- ・当番校の確認と役割
- ・各大学：災害への備え
- ・災害時の対応（BCP）
- ・地域貢献
- ・教職員の災害に関する認識

栃木・茨城ブロック

- ・各大学：災害への備え
- ・災害時の対応（BCP）
- ・筑波大学：リスクマネジメント、組織体制の紹介

共有

神奈川ブロック

- ・未登録大学への声かけ、圏内での横の繋がりを作りたい
- ・3月会議開催予定
- ・大学と病院との連携について情報収集
- ・附属病院との連携

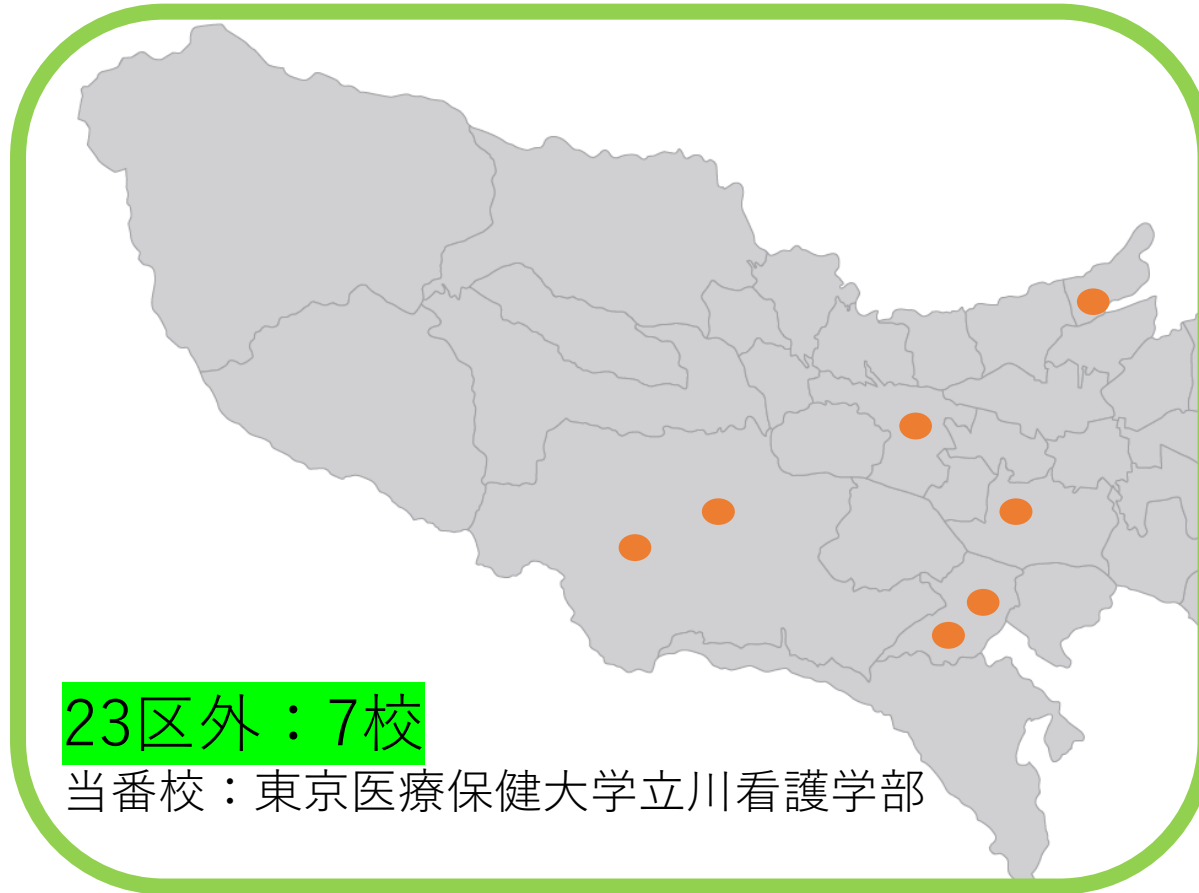
千葉ブロック

- ・千葉大学：防災マニュアル・停電マニュアルの紹介
- ・防災訓練の紹介
- ・防災対応・備蓄に関し、総合大学における課題提供

東京ブロック

登録校： **23校** / 26校 (未登録：3校)

★2021年より4校増える



担当：内木 美恵 (日本赤十字看護大学)

2022年度の活動

2022年度は都内で被害調査を行う規模の災害は発生せず会議を行った。

ブ
ロ
ッ
ク
会
議

東京ブロック全体会議

第1回(10/12) zoom 【予定としては2回/年】

参加 : 16校/23校

内容 : 情報交換(安否確認、防災訓練、コロナ禍の状況等)

課題 : 大学の備え、参加校間の連携、帰宅困難時の連携

小ブロック当番校+担当者 会議 : 2回実施 (ブロック会議前、小ブロック会議前)、議題検討等

小
ブ
ロ
ッ
ク
会
議

23区外会議(11/22) zoom

参加 : 4校/7校

内容 : 情報交換(防災、備え)

課題 : 教員の防災意識

23区内会議(12/6) zoom

参加 : 8校/16校

内容 : 情報交換(コロナ対応、防災、備え)

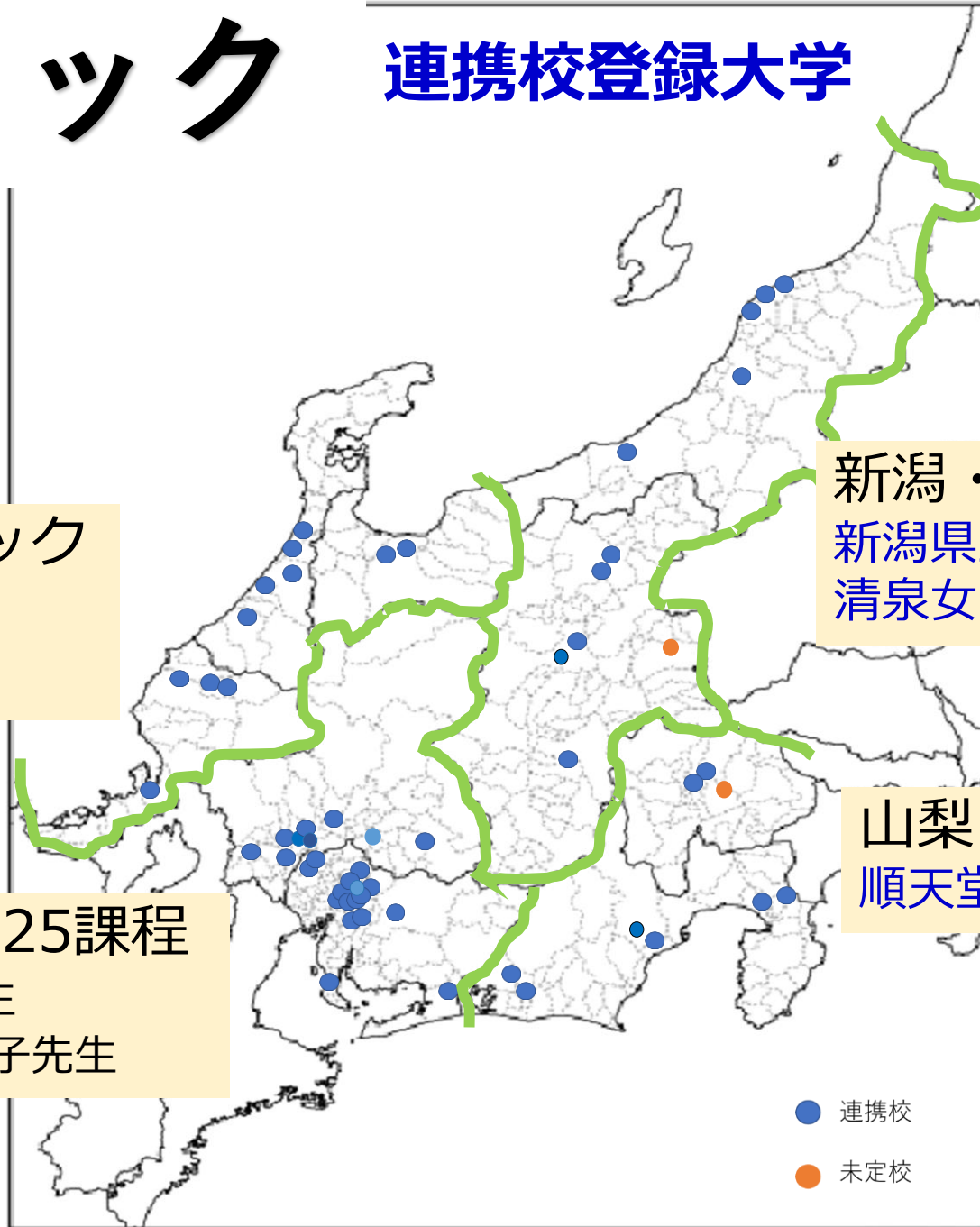
課題 : 大学の備え、帰宅困難時の連携

中部ブロック

連携校登録大学

2023年1月現在
登録大学
54課程/56課程

新潟県 長野県 静岡県
山梨県 愛知県 岐阜県
石川県 富山県 福井県



小ブロック当番大学

石川・富山・福井ブロック
：11課程
福井大学__佐藤大介先生

新潟・長野ブロック：10課程
新潟県立看護大学__堀江正男先生
清泉女学院大学__小原真理子先生

岐阜・愛知ブロック：25課程
名古屋大学__中山奈津紀先生
岐阜県立看護大学__山田洋子先生

山梨・静岡ブロック：8課程
順天堂大学__酒井太一先生

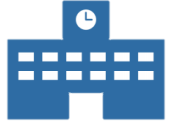
中部ブロック担当
山崎加代子（敦賀市立看護大学）

2022年度活動内容

小ブロック会議

2022年7月～1月

岐阜・愛知ブロック：25



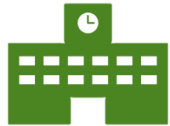
- 災害時の教育継続支援に向けた体制づくりに関する中部ブロック・小ブロック会議：岐阜（2022/10/18）__7/8 課程参加
 - ・各大学の現状の意見交換、岐阜ブロックでの今後の取り組み
- メール会議、被災状況調査の実施__17課程：愛知
 - 「愛知看護系大学連絡協議会」連絡網がある

新潟・長野ブロック：10



- 長野県看護系大学災害時教育支援ネットワーク会議（2022/9/18）__3/4課程参加
 - ・災害連携教員の未登録大学への案内について、各大学の災害対策の報告及び情報交換
- 新潟県看護系大学等災害支援連携協議会2回/年開催、新潟ブロックメール会議9/23～10/24__5/5校参加
 - ・新潟県看護系大学等災害支援連携協議会によるネットワーク化について、2022年度の行政機関と連携した積極的疫学調査、令和4年8月豪雨災害支援活動について

山梨・静岡ブロック：8



- JANPU災害支援対策委員会__山梨・静岡小ブロック会議 4月・10月開催
 - 第2回（2022/10/14）__8/8課程参加
 - ・台風15号被害状況、JANPUによる災害時相互支援について

石川・富山・福井ブロック：11



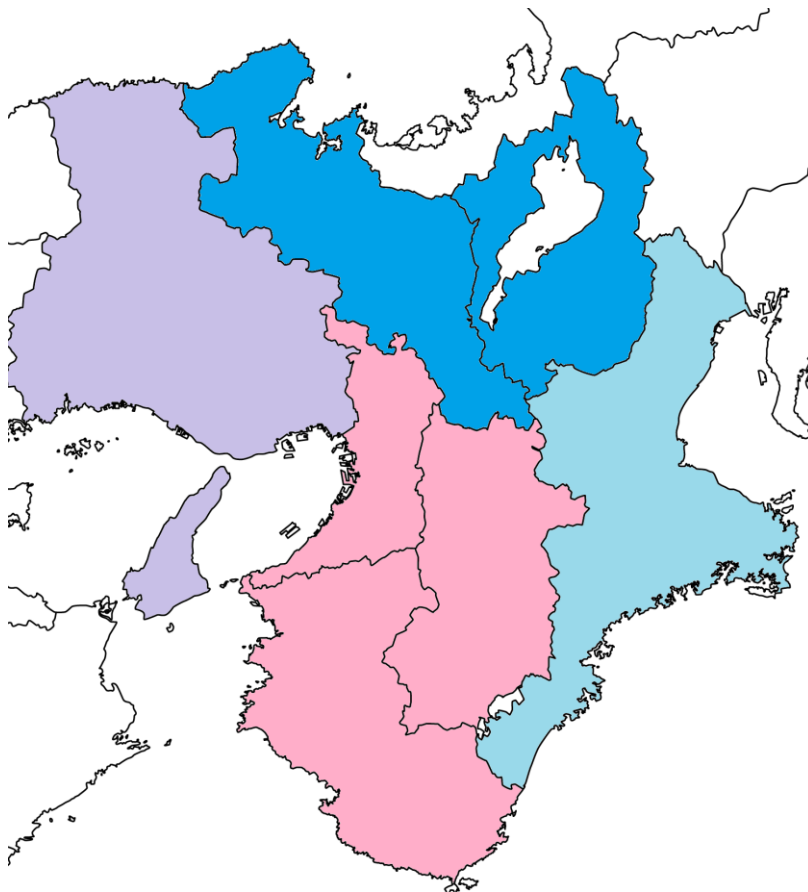
- 第1回災害時の教育継続支援に向けた体制づくりに関する北陸ブロック担当者会議（2022/10/21）__9/11課程参加
 - ・代表校選出、各大学の備えの情報交換、今年度の目標、ブロック用の情報提供（大学用）の情報収集フォームの運用について、地域性（雪害など）を踏まえた小ブロック内での連携

関西・近畿ブロック

大阪・和歌山・奈良、京都・滋賀、兵庫、三重

兵庫
15校
当番校：園田学園女子大学

大阪・和歌山・奈良
22校
当番校：藍野大学



滋賀・京都
11校
当番校：京都橘大学

三重
4校
当番校：三重大学

ブロック担当：西上あゆみ（藍野大学）

小ブロックの活動

兵庫県（園田学園女子大学 宮田さおり）

会議開催日 7/5、9/9、12/5の計3回
いずれもオンライン（zoom）で実施。

活動内容

各大学の情報共有

コロナ禍における臨地実習の現状と課題

防災・減災における大学および地域の取り組み

大阪府・奈良県・和歌山県

（藍野大学 西上あゆみ）

会議開催日 5/27、10/20（年度内1回開催予定）

会議内容

各大学との情報共有

コロナ禍における実習・授業の現状と課題

9月台風に関する各大学の被害状況確認

防災・減災に関する大学および地域の取り組み

災害時の教育継続

京都府・滋賀県（京都橘大学 黒瀧安紀子）

会議開催 2回（年度内1回開催予定）

活動内容

各大学の地域災害特性・ハザード、備蓄、地域連携協定について一覧の作成。各大学の地域特性を示すハザードマップの共有。各大学の情報参加校がアクセスできるクラウドのようなものの設置を検討。JANPUとの連携を含めた発災時のフローチャート作成の検討。

9月：災害発生時の状況確認実施。

三重県（三重大学 西出りつ子）

会議開催日 10/18（次回：3月27日）

会議内容

発災時の4大学間の相互支援

自校の防災への取り組みの推進

活動

三重大学全学津波避難訓練の見学（11月22日）

3大学の委員・防災担当教員・事務局管理職（計15名）

+ 三重大学2名

中国・四国広域ブロック

中国ブロック：17校（連携未登録4校）

当番校：山口大学

副当番校：日本赤十字広島看護大学



四国ブロック：10校

（連携未登録1校）

当番校：愛媛県立医療技術大学

副当番校：高知県立大学

ブロック担当：大野かおり（兵庫県立大学）

小ブロック会議

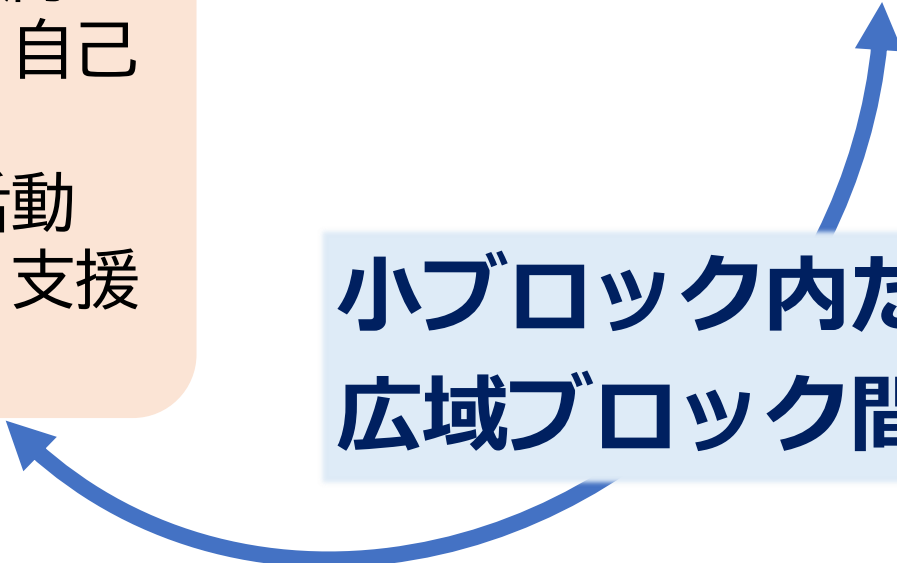
中国ブロック

- 毎月開催
- 情報交換, 意見交換
- 大雨, 台風の影響状況調査結果共有 (7月豪雨, 9月台風14号)
- 災害時情報共有シートの改訂
- 防災に関する大学の取組, 自己点検の進め方
- 災害看護に関する授業・活動
- COVID-19の教育への影響, 支援等

四国ブロック

- 10月開催
- 小ブロックの役割の確認および当番校・副当番校
- 情報交換会の持ち方

小ブロック内だけでなく
広域ブロック間でつながる



九州・沖縄ブロック

[登録大学：28]



北ブロック：18
長崎・佐賀・福岡
当番大学：福岡県立大学
ホスト：聖マリア学院大学

沖縄ブロック：3 (5人)
沖縄
当番大学：名桜大学

南ブロック：7
大分・熊本・宮崎・鹿児島
当番大学：大分大学

ブロック担当：三橋睦子（久留米大学）

小ブロック活動（全大学参加）

- 沖縄ブロック：8回開催（1回/月：5/13, 6/10, 7/8, 9/2, 10/14, 11/17, 12/16, 1/13）
 - ・大学におけるコロナ対応の情報共有
 - ・大学における保健所応援事業の情報提供
 - ・災害における看護教育の質保証へのシフトの必要性について
 - ・沖縄内外のネットワーク構築などの情報共有について
 - ・新カリにおける災害看護学の授業展開について
 - ・情報共有のためのツールとしてスプレッドシートの活用について検討
- 北ブロック：分散で3回開催
- 4/26, 5/6（15時～）, 7/26（17時～）
 - ・コロナ禍での授業継続、実習継続、ワクチン、PCR等経費負担実施状況、感染防止対策等について情報共有
- 南ブロック：1回開催（6/27）
 - ・情報の集約、経緯等の引き継ぎ
 - ・ブロックの活動にあたり規約を作る必要がある。
他の関連規約情報などを集約し、検討していきたい。

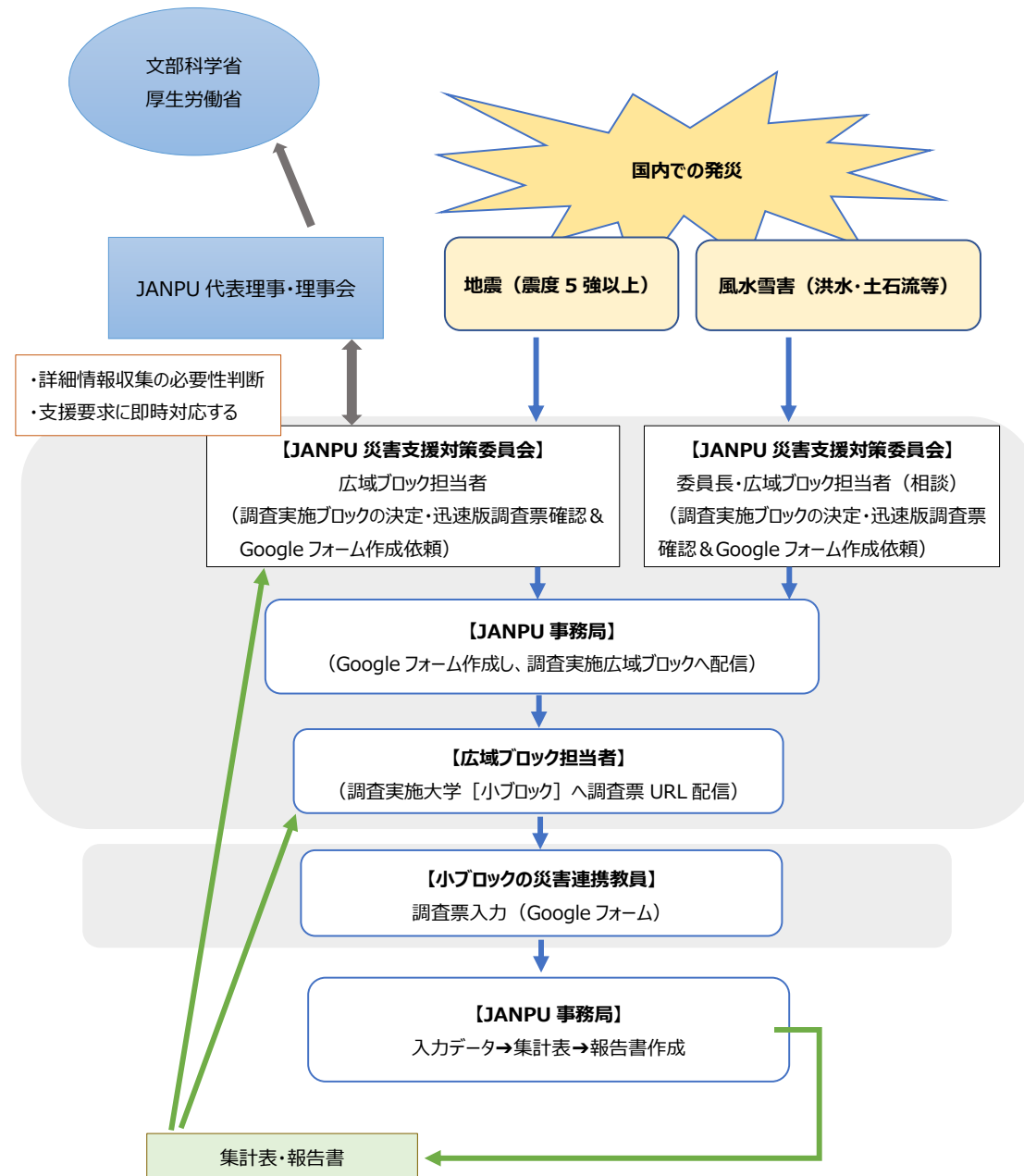
2. ブロックネットワークを活用する 災害発生時の調査プロセスについて

《目的》

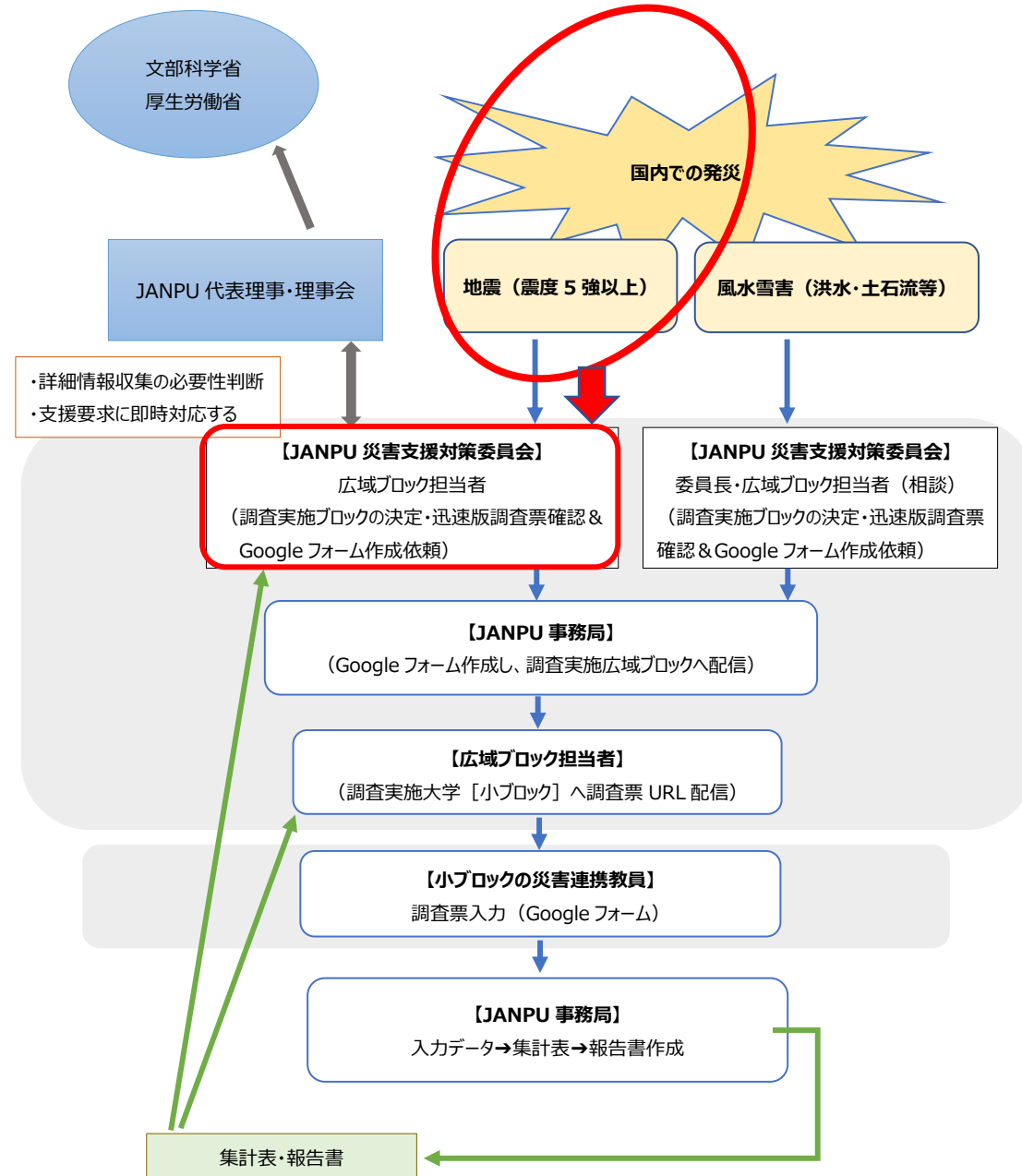
すみやかに被災状況の確認をおこない、支援要求に即時対応する。

※小ブロック独自に情報収集・支援体制を確立している場合は、その体制に基づいて対応して下さい

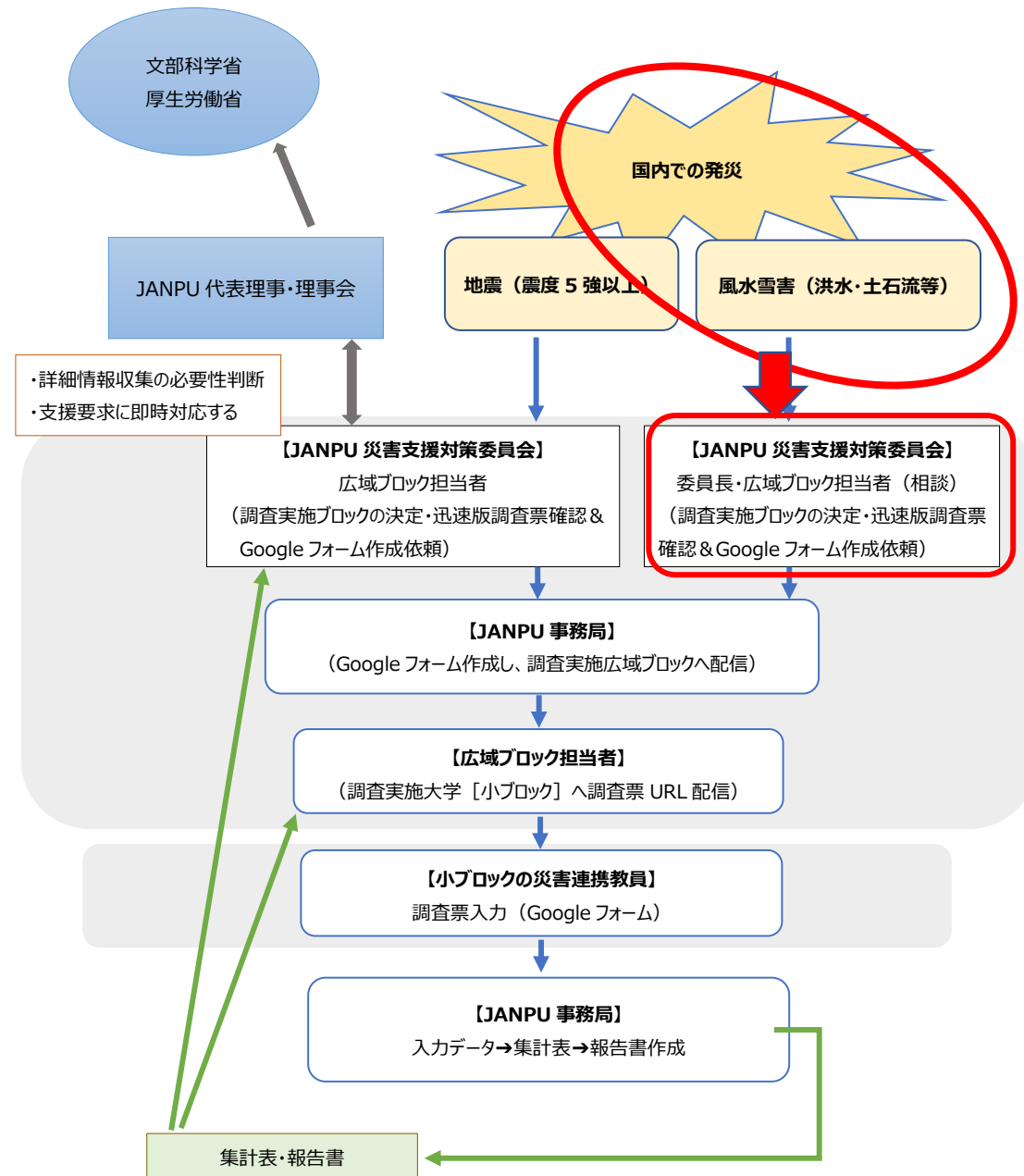
被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



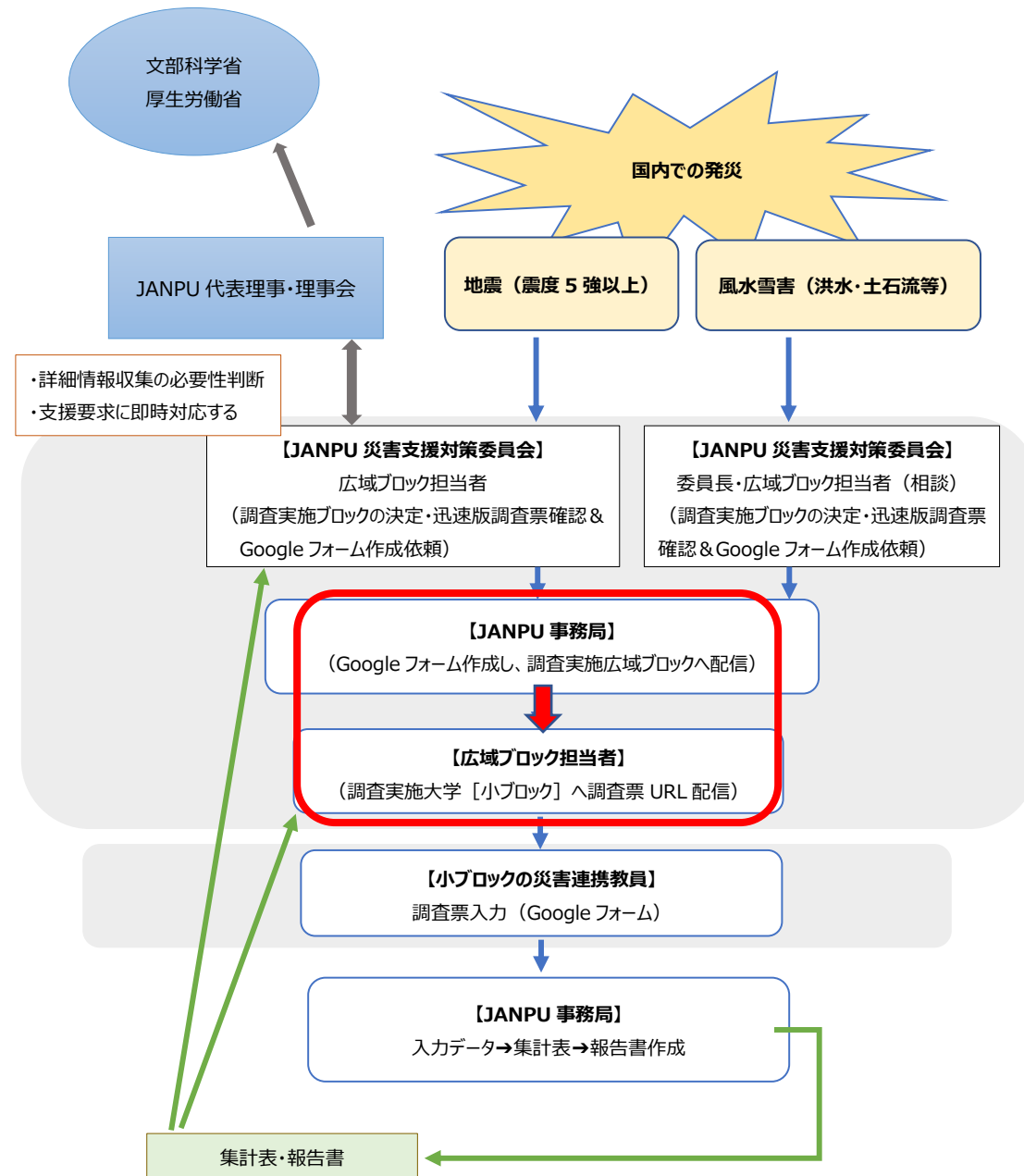
被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



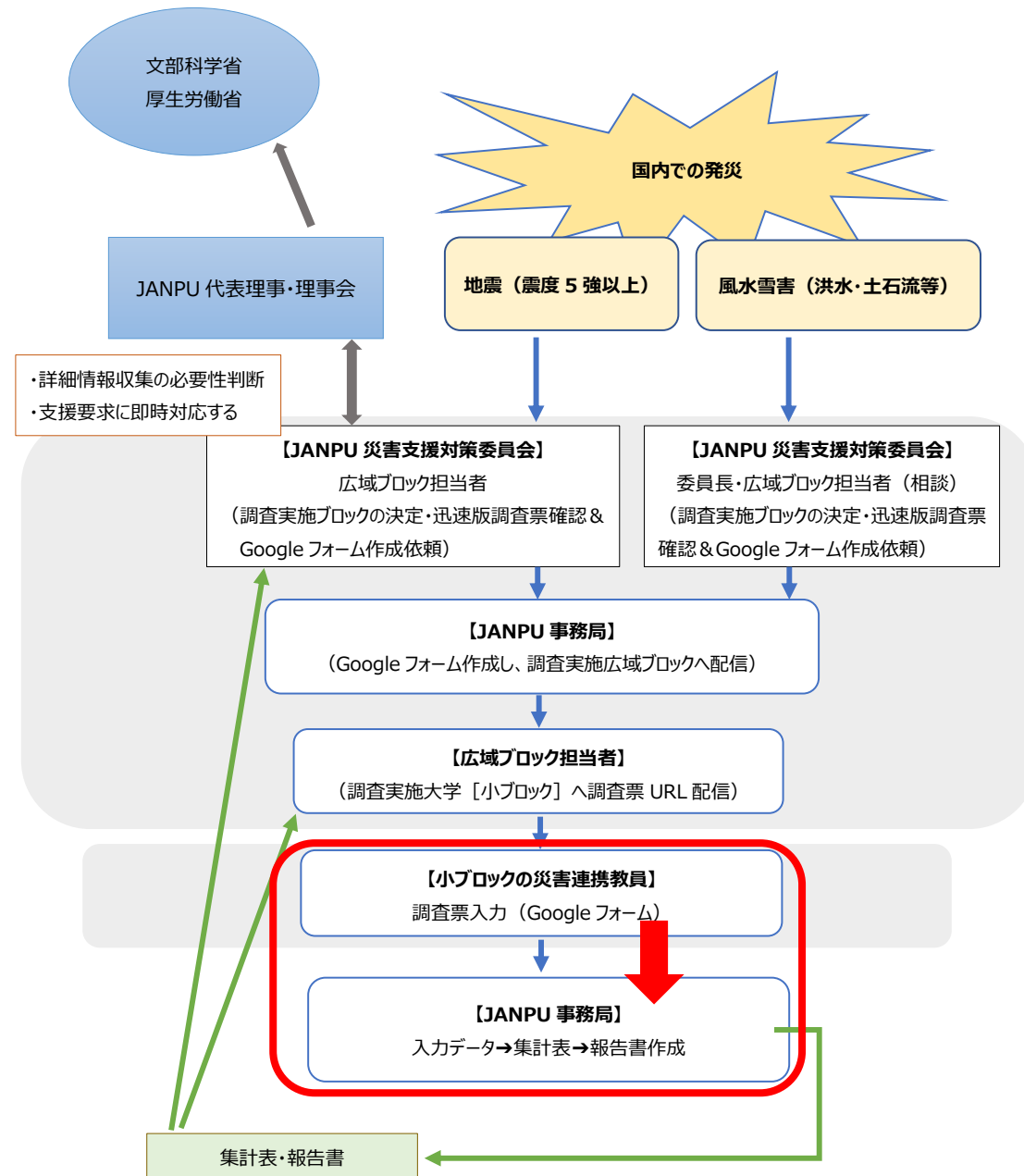
被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



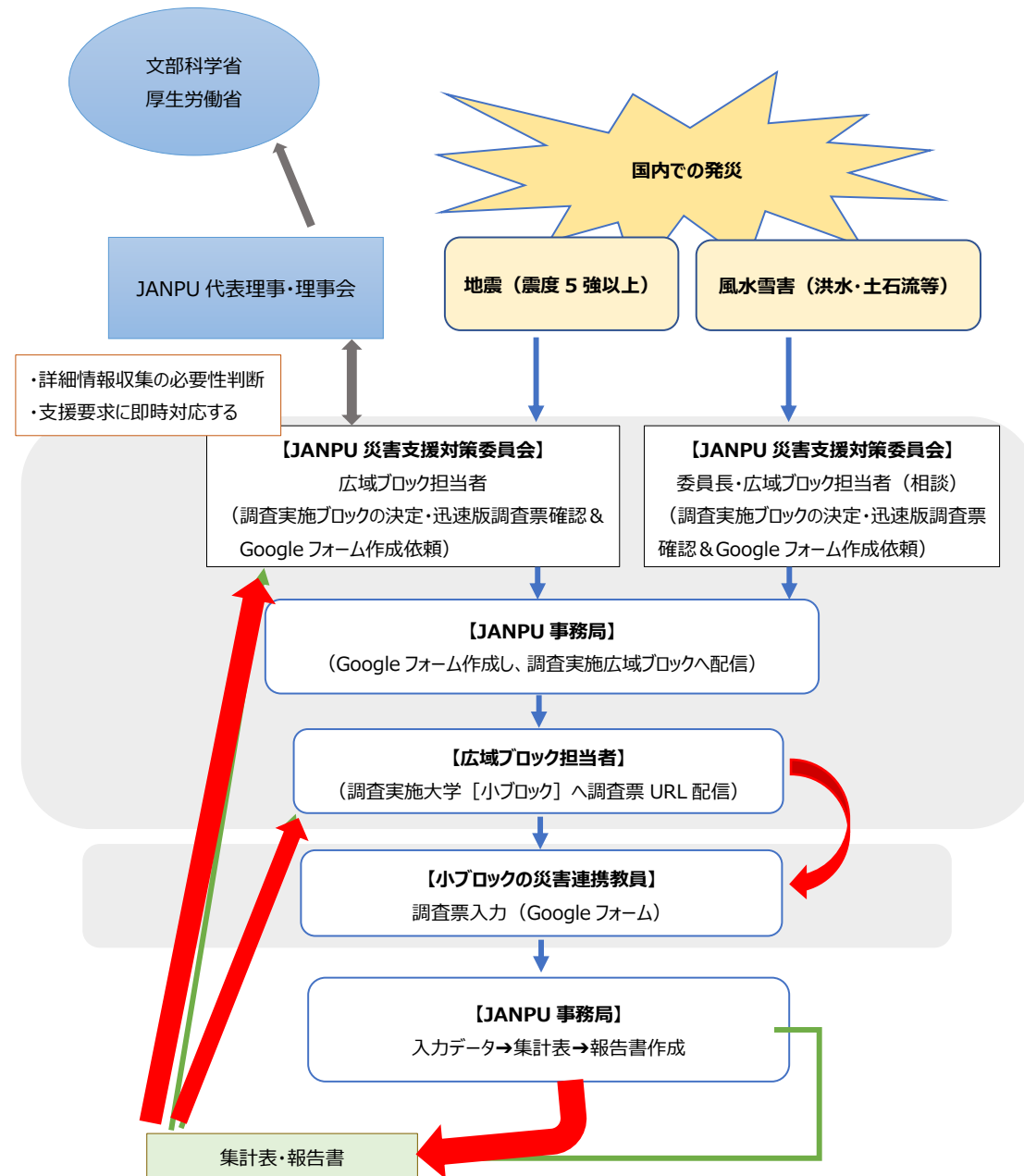
被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



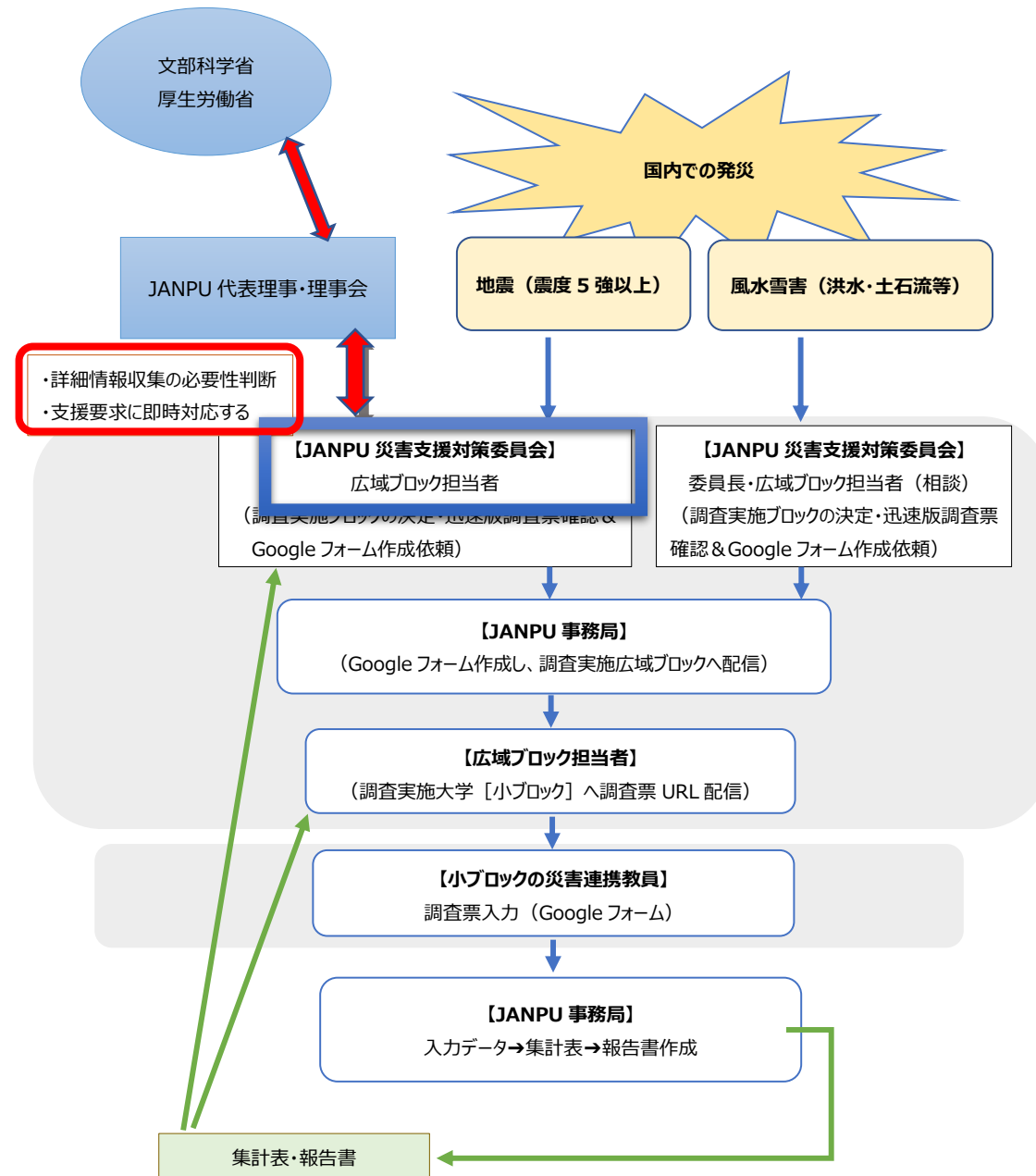
被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



被災状況調査用紙【迅速版】

調査タイトル：●●●●による被災状況調査

●●●●による被害について、取り急ぎ可能な範囲でご回答ください。

★支援を希望された場合は、改めてご連絡させていただきます。大きな被害がある場合は、委員会からご連絡させて頂くことがあります。

一般社団法人日本看護系大学協議会
災害支援対策委員会

大学名：

所在地（都道府県）：

回答者名：

回答者連絡先（メールアドレス）：

1. ●●●●による被害についてお伺いします。

- 被害があった（建物、授業、実習、学生、教職員等） ⇒以下の質問「2-1」に移動
- 被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください

2-1. 建物への被害について

- 被害がなかった
- 建物への被害があった ⇒下記2-2に具体的な状況をお書きください

3-1. 電気等（ライフライン）の被害について

- 被害がなかった
- 電気等への被害があった ⇒下記3-2に具体的な状況をお書きください

4-1. 上下水道等（ライフライン）の被害について

- 被害がなかった
- 上下水道等の被害があった ⇒下記4-2に具体的な状況をお書きください

5-1. 授業の継続について

- 支障がなかった
- 支障があった ⇒下記5-2に具体的な状況をお書きください

6-1. 実習の継続について

- 支障がなかった
- 支障があった ⇒下記6-2に具体的な状況をお書きください

7-1. 学生・教職員の登下校への影響について

- 被害がなかった
- 被害があった ⇒下記7-2に具体的な状況をお書きください

8. その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響があれば、ご記入ください。

9-1. JANPUからの支援を要望されますか

- 希望しない
- 希望する ⇒下記9-2に具体的な状況をお書きください

9-2. JANPUから希望する支援について、具体的な内容をお書きください

被災状況調査の手続きについて

- 発災後担当地域の担当者（ブロック担当委員）は災害発生1-2週間後にGoogleフォームでのアンケートフォームを用いて状況を確認

2022年度 台風14号15号の被災状況調査を参考に（現在の確認のステップ）

- 1) 被災後担当地域のブロック担当者→災害支援対策委員会委員長に、調査対象の災害（風水害）について承認をえる。
- 2) 調査対象の地震・風水雪害の調査票（【迅速版】調査票）を指定して、JANPU事務局に送信し、Googleフォームの作成を依頼する。
- 3) JANPU事務局は、GoogleフォームのURLを、調査依頼のブロック担当者および本委員会委員長および総務担当委員へ送信する。
調査依頼のブロック担当委員は内容を確認し、必要に応じて事務局へ修正を依頼する。

GoogleフォームのURLを2種類お送りいたします。
それぞれ用途が異なりますので、くれぐれもご注意ください。

【1】 災害連携教員の方々へお送りいただく調査回答用URL

<https://forms.gle/3wM3SARAmCnG6>

【2】 編集者用のURL

下記URLよりフォームの回答を閲覧・削除することができますので、
お取り扱いには十分ご注意ください。

https://docs.google.com/forms/d/1JYq80FDpUgKDZEN6a_9Qapdhjw78dC5Py-

【1】 および【2】 のURLは、調査ごとに、その都度異なったものになります。

2022年台風14号・15号による被災状況調査

2022年9月にかけての台風14号・15号による被害について、取り急ぎ可能な範囲でご回答ください。

★支援を希望された場合は、改めてご連絡させていただきます。大きな被害がある場合は、委員会からご連絡させて頂くことがあります。

一般社団法人日本看護系大学協議会
災害支援対策委員会

- 4) 全災害支援対策委員へGoogleフォームのURLをメール配信する。
 - ※調査は、必要な地域へ依頼する。（今回はオーバートリアージの被災地ブロック担当災害支援対策委員へ送信しました）
 - ※調査のタイミングは、災害直後の被災地への調査の御願いは困難が推測されるため、1～2週間後を目途に、災害の規模や状況に応じて依頼する。
- 5) 調査が必要と判断されたブロック担当委員は、各ブロックのメーリングリストを使用して、GoogleフォームのURLをブロックの災害連携教員に配信し入力を依頼する。（返信の期限を設定する）
- 6) Googleフォームの回答は、直接JANPU事務局にデータが集められ、エクセルファイルに集計され、さらに報告書としてまとめられます。
- 7) Googleフォーム回答の集計結果は、JANPU事務局からブロック担当委員にフィードバックされます。
 - ※フィードバックのタイミングは、状況によるが、調査開始1週間後と調査期限終了後の2回を目途とする。
- 8) ブロック担当委員は、全災害支援対策委員会委員へ情報提供し、さらに聞き取り調査や現地調査が必要と思われた場合は、委員長および総務担当委員と相談し、情報収集および具体的支援に繋げる。

※こうなけばならないと言うことはなく、使いやすいツールとして、状況によって変更されるものとして必ずしも、捉えてください。

Microsoft Excel 2019 日本語版のメニューバーとリボン。メニューには「ファイル」「ホーム」「挿入」「ページレイアウト」「数式」「データ」「校閲」「表示」「ヘルプ」があり、Acrobatと「何をしますか」のヘルプリンクも表示されている。リボンの「ホーム」タブには、貼り付け、切り取り、コピー、書式のコピー/貼り付け、クリップボード、フォント設定（Arial, 10）、配置設定（折り返して全体を表示する、セルを結合して中央揃え）、数値設定（標準、パーセント、小数点）、スタイル設定（標準、悪い、良い、チェック、メモ）があり、右側には挿入、削除、書式、オートSUM、フィル、クリア、並べ替えとフィルター、検出と修正などの機能がある。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	タイムスタンプ	大学名	所在地（都道府県）	回答者名	回答者連絡先（E-MA	1. 2022年9月にか	2-1. 建物への被害	2-2. 建物への被害	3-1. 電気等（ラ	3-2. 電気等への被害	4-1. 上下水道等	4-2. 上下水道等	5-1. 授業の継続
2	10/2/2022 16:22:00		福岡県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
3	10/7/2022 19:49:33		福岡県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
4	10/7/2022 19:56:01		長崎県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
5	10/7/2022 21:06:46		宮崎県			被害があった（建物、建物への被害がある）構内自転車置き場の							
6	10/7/2022 21:21:38		沖縄県			被害がなかった ⇒ 最被害がなかった		被害がなかった			被害がなかった		支障がなかった
7	10/7/2022 21:34:20		福岡県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							支障がなかった
8	10/7/2022 21:38:55		沖縄県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
9	10/8/2022 9:04:29		佐賀県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
10	10/8/2022 10:50:51		長崎県			被害がなかった ⇒ 最被害がなかった			電気等への被害があ	停電があった（深夜）	被害がなかった		支障があった ⇒ 下記午
11	10/8/2022 15:17:54		福岡県福岡市			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
12	10/9/2022 22:45:23		熊本県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
13	10/10/2022 7:07:53		沖縄県			被害がなかった ⇒ 最被害がなかった			被害がなかった				支障がなかった
14	10/11/2022 9:46:19		福岡県			被害がなかった ⇒ 最被害がなかった			被害がなかった				支障がなかった
15	10/11/2022 13:05:39		福岡県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
16	10/12/2022 7:28:59		福岡県宗像市			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
17	10/12/2022 10:18:47		福岡県			被害がなかった ⇒ 最被害がなかった			被害がなかった				支障がなかった
18	10/12/2022 12:51:21		熊本県			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							
19	10/14/2022 13:49:06		大分県			被害があった（建物、被害がなかった			被害がなかった				支障があった ⇒ 下記文
20	10/21/2022 16:56:16		熊本県玉名市富尾88			被害がなかった ⇒ 最下部の送信ボタンを押してください							

Microsoft Excel 2019 日本語版のメニューバーとリボン。メニューには「ファイル」「ホーム」「挿入」「ページレイアウト」「数式」「データ」「校閲」「表示」「ヘルプ」「Acrobat」「何をしますか」があります。リボンの「ホーム」タブには、貼り付け、フォント、配置、数値、スタイルのグループがあります。

E14		熊本県											
	A	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
1	No.	ブロック	大学名	所在地 (都道府県)	回答者名	回答者連絡先 (E-MA	■1. 2022年9月にか	■2-1. 建物への被	■2-2. 建物への被	■3-1. 電気等 (ラ	■3-2. 電気		
2	1	北ブロック		長崎県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください						
3	2		長崎県			被害がなかった ⇒最 被害がなかった				電気等への被害があ	停電があった		
4	3		佐賀県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
5	4		福岡県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
6	5		福岡県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
7	6		福岡県宗像市			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
8	7		福岡県			被害がなかった ⇒最 被害がなかった					被害がなかった		
9	8		福岡県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
10	9		福岡県福岡市			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
11	10		福岡県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
12	11		福岡県			被害がなかった ⇒最 被害がなかった					被害がなかった		
13	12		南ブロック		大分県			被害があった (建物、被害がなかった			被害がなかった		
14	13	熊本県				被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
15	14	熊本県				被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							
16	15	宮崎県			被害があった (建物、建物への被害があ	構内自転車置き場の	被害がなかった						
17	16	沖縄ブロック		沖縄県			被害がなかった ⇒最 被害がなかった			被害がなかった			
18	17		沖縄県			被害がなかった ⇒最 被害がなかった				被害がなかった			
19	18		沖縄県			被害がなかった ⇒最下部の送信ボタンを押してください							

台風 14 号・15 号による被災状況調査（JANPU 災害支援対策委員会）

I. 調査方法

1. 対象：2022 年度災害連携教員 九州・沖縄ブロック 28 校
2. データ収集方法：Google フォームを用いた Web 調査
3. 期間：2022 年 10 月 7 日（金）～2022 年 10 月 21 日（金）

II. 結果

1. 回答数：19 校（回収率 67.9%）

ブロック	回答校数	内訳
北ブロック	11 校	長崎県 2 校、佐賀県 1 校、福岡
南ブロック	5 校	大分県 1 校、熊本県 3 校、宮崎
沖縄ブロック	3 校	沖縄県 3 校

2. 2022 年 9 月にかけての台風 14 号・15 号による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害が無かった	15 校 (78.9%)
被害があった	4 校 (21.1%)

3. 被害があった大学の状況

1) [] 大学（長崎県：北ブロック）

設問項目	被害・影響状況
電気等（ライフライン）の被害	停電があった（深夜）。
授業の継続	午前中の講義は休校でした。
学生・教職員の登下校への影響	公共交通手段が難しく、解除をまって午後

2) [] 大学（福岡県：北ブロック）

設問項目	被害・影響状況
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	9/19（月）は祭日だが“授業実施日”に 終日休講となり、補講で対応した。

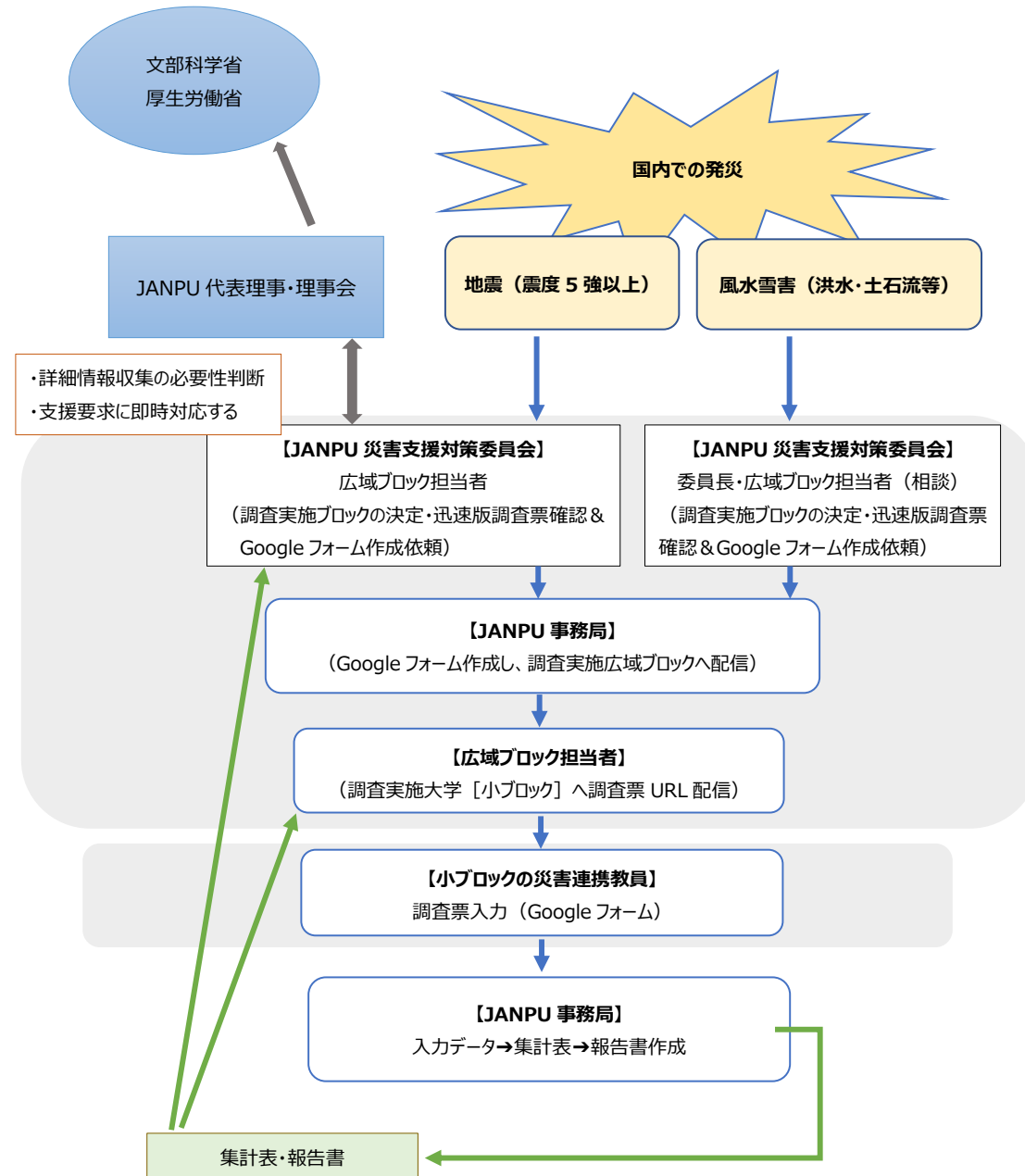
3) [] 大学（大分県：南ブロック）

設問項目	被害・影響状況
授業の継続	交通手段が確保できない状態が推測され （月）午前中を休講とした。
実習の継続	交通手段が確保できない状態が推測され （月）午前中を休講とした。

4) [] 大学（宮崎県：南ブロック）

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	構内自転車置き場のポート破損

被害状況および教育継続に向けたニーズに関する情報収集と集約の体制



《災害支援対策委員会》

被災地の大学から報告された情報をもとに

- 詳細な継続調査の必要性について検討する。 → 必要に応じ追加調査・現地調査を行う。
- 必要に応じて、教育継続に向けた被災地大学のニーズと支援のマッチング・調整を行う。
- JANPUとして対応が必要と思われる事項、文部科学省・厚生労働省等への確認が必要と思われる事項（実習施設の届け出がされていない施設で実習が必要、入学・卒業式等への対応、卒業証明書の発行について等）がある場合は、JANPU理事会へ報告し、以後の対応方法などについて検討を求める。

- ＜JANPU理事会＞
- ・ JANPUとしての対応、方針の決定
 - ・ 災害支援対策委員会への指示
 - ・ 全国会員校への支援協力要請
 - ・ 文部科学省・厚生労働省への報告・意見提出および相談